

# 3段階 STEP 別 算数文章題プリント 5年

下記のページに誤りがありました。お詫びして訂正させていただきます。喜楽研

誤

正

## P57 右 問題の表

	時 速	分 速	秒 速
自転車	18km	㊦	㊩
自動車	㊵	750m	㊥
時 速	㊠	㊣	25m



	時 速	分 速	秒 速
自転車	18km	㊦	㊩
自動車	㊵	750m	㊥
電 車	㊠	㊣	25m

## P69 左 問題②の表

□	1	2	3	4
○	6	12	18	<u>16</u>



□	1	2	3	4
○	6	12	18	<u>24</u>

## P70 右 問題③

③ 入れた水の量を□L, 水の深さを○cmとして,  
③ の式を書きかえましょう。



③ 入れた水の量を□L, 水の深さを○cmとして,  
② の式を書きかえましょう。

## P72 下 「4 マスの表に整理するときの注意点」の中の言葉 (2ヶ所あり)

1つ分の数 … 比べられる量  
全部の数 … もとにする量



※差し替え用ワークシートを添付のとおり準備いたしました。  
こちらをご利用ください。

1つ分の数 … もとにする量  
全部の数 … 比べられる量



わり あい と  
**割合の文章題の解き方**  
～4マスの表に整理して考えよう～

名前

- ◇ 「割合」「比べられる量」「もとにする量」を求める文章題でも4マスの表に整理して、考えられます。  
まず、「もとにする量」が何かを文章から読み取り4マス表に整理しましょう。下の3つの問題について、4マスの表を見ながら、式と答えを書きましょう。

	問題	図	4マスの表に整理する	式と答え											
「割合」を求める	<p>学校の5年生80人のうち、運動クラブにはいった人は48人です。</p> <p>5年生の人数をもとにした、運動クラブにはいった人の割合を小数で求めましょう。</p>	<p>図：割合の棒グラフ。横軸は人数（0, 48, 80(人)）、縦軸は割合（0, □, 1）。48と80は「比べられる量」と「もとにする量」でラベルされている。</p>	<p>①もとにする量</p> <table border="1"> <tr><td>80人</td><td></td></tr> <tr><td> </td><td></td></tr> </table> <p>↓</p> <p>②もとにする量 比べられる量</p> <table border="1"> <tr><td>80人</td><td>48人</td></tr> <tr><td> </td><td>□</td></tr> <tr><td colspan="2">割合</td></tr> </table>	80人				80人	48人		□	割合		<p>①もとにする量が5年生の80人だから、左側のマスに「1」「80人」と書く。</p> <p>②48人のときの割合がわからないので、右側のマスに「48人」「□」と書く。</p>	<p>ことばの式は、  <math>(\text{比べられる量}) \div (\text{もとにする量}) = (\text{割合})</math>          だから式</p> <p>答え</p>
80人															
80人	48人														
	□														
割合															
「比べられる量」を求める	<p>定価500円のおかしが、大売出しで定価の0.6の割合のねだんになりました。</p> <p>代金は何円になりましたか。</p>	<p>図：割合の棒グラフ。横軸はねだん（0, □, 500(円)）、縦軸は割合（0, 0.6, 1）。□と500は「比べられる量」と「もとにする量」でラベルされている。</p>	<p>もとにする量 比べられる量</p> <table border="1"> <tr><td>500円</td><td>□円</td></tr> <tr><td> </td><td>0.6</td></tr> <tr><td colspan="2">割合</td></tr> </table>	500円	□円		0.6	割合		<p>①もとにする量が定価500円だから、左側に「1」「500円」と書く。</p> <p>②割合が0.6のときのねだんがわからないから、右側に「0.6」「□円」と書く。</p>	<p>ことばの式は、  <math>(\text{もとにする量}) \times (\text{割合}) = (\text{比べられる量})</math>          式</p> <p>答え 円</p>				
500円	□円														
	0.6														
割合															
「もとにする量」を求める	<p>あるクラブの入部希望者は14人で、これは定員の0.7の割合にあたるそうです。</p> <p>このクラブの定員は何人ですか。</p>	<p>図：割合の棒グラフ。横軸は人数（0, 14, □(人)）、縦軸は割合（0, 0.7, 1）。14と□は「比べられる量」と「もとにする量」でラベルされている。</p>	<p>もとにする量 比べられる量</p> <table border="1"> <tr><td>□人</td><td>14人</td></tr> <tr><td> </td><td>0.7</td></tr> <tr><td colspan="2">割合</td></tr> </table>	□人	14人		0.7	割合		<p>①もとにする量が定員で人数がわからないから、左側に「1」「□人」と書く。</p> <p>②割合が0.7のときの人数が14人だから、右側に「0.7」「14人」と書く。</p>	<p>ことばの式は、  <math>(\text{比べられる量}) \div (\text{割合}) = (\text{もとにする量})</math>          式</p> <p>答え 人</p>				
□人	14人														
	0.7														
割合															

問題文の中にある「もとにする量」に線を引いて考えるとよくわかる!



4マスの表に整理するときの注意点

- ①左側の下のだんのマスは必ず1!
- ②下のだんのマスの単位はなし。上のだんのマスの単位は、必ず同じものにする。(例えば、上の「割合」を求める問題では、人。)

(1つ分の数) もとにする量	(全部の数) 比べられる量
○人	○人
	○
割合 (いくつ分)	



これまでに学習してきたことばにあてはめてみると、よくわかる!

1つ分の数 … もとにする量  
 いくつ分 … 割合  
 全部の数 … 比べられる量